

えりも岬緑化60周年記念事業 イキイキ森林づくり事業

えりも岬緑化事業は昭和28年から本格的に始まり平成25年に60周年を迎えました。春の植樹祭に続き、秋は10月5日に約80人参加し、「イキイキ森林づくり事業」がえりも国有林で行われ、クロマツの枝落とししや本数調整伐の育樹作業を行いました。



地元えりも町の漁業、学校、森林組合などの関係者のほか、えりも町で宿泊体験していた関西の修学旅行生の飛び入り参加もあり、混み合っているクロマツ林の手入れ作業に従事しました。特に修学旅行生は、普段使う機会の少ないノコギリに悪戦苦闘しながらも、どんどん慣れて、最後には、地元住民より早く作業できるようになり、「若いっていいね」と皆に持ち上げられたりしていました。

作業後のクロマツ林の姿を見て、「きれいになったね」「クロマツの散髪をしたみたいだね」などの見た目の感想を述べながら、「大きくなって、また伸びたら、きれいにしてあげるよ」と将来についても誓っていました。



また、作業箇所周辺には30周年記念碑があり、当時緑化事業に携わった方々は、その記念碑と記念撮影しながら、えりも岬の森林づくりの苦労話をし、当時の作業の大変さを感慨深く思い出しておられました。今でこそ、クロマツによる木本緑化がほとんど完了していますが、強風と共存できる森林づくりに関わった方々の知恵や発想には、脱帽です。

現在、えりも岬には魚が帰って来たり、同じように人も帰ってきています。森林づくりが地域の基幹産業である水産業の拡大、地域住民の定住化促進に繋がっている優良事例といえます。また、観光客のほか、地域住民参加の森林保全の先進事例として国内外から視察に来訪するなど、高い関心が寄せられています。

最後に、今回60周年記念事業を通じて、人々の笑顔が印象として強く残りました。ぜひ、その笑顔が絶えないよう、引き続き、地域住民と一緒に森林づくりを考え、進めていこうと思います。

